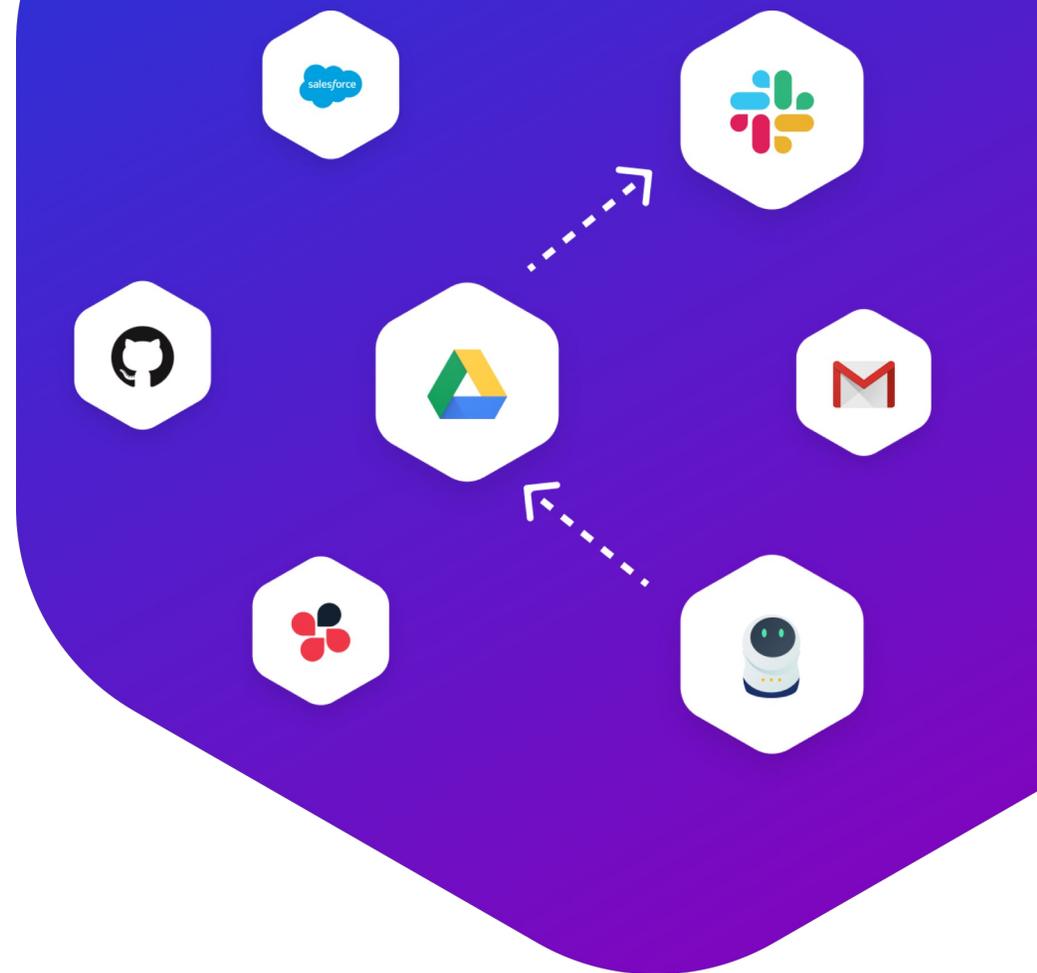




BizteX Connect

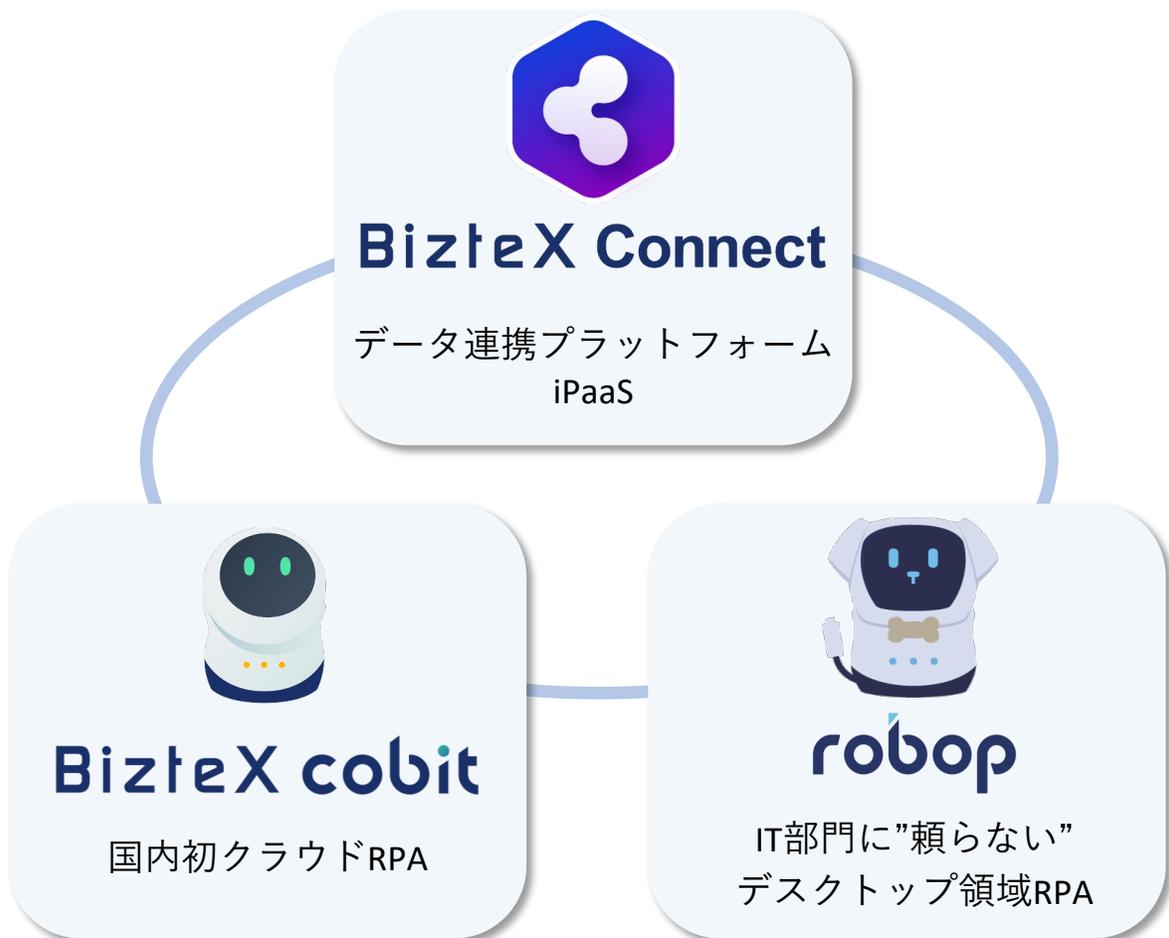
自動連携ができるサービス

国産「iPaaS」のご紹介



BizteX

複数のプロダクトを展開し 業務の自動化を支援



BizteX株式会社

創業 2015年7月

代表者 嶋田 光敏

所在 東京都新宿区新宿1-3-12
壱丁目参番館 2階

事業 クラウドRPA「BizteX cobit」
iPaaS「BizteX Connect」
↳デスクトップRPAオプション「robop」
提供および業務効率化・自動化支援

受賞歴



01 複数システムを活用する上の課題

02 弊社ソリューションのご紹介

03 SaaS連携事例

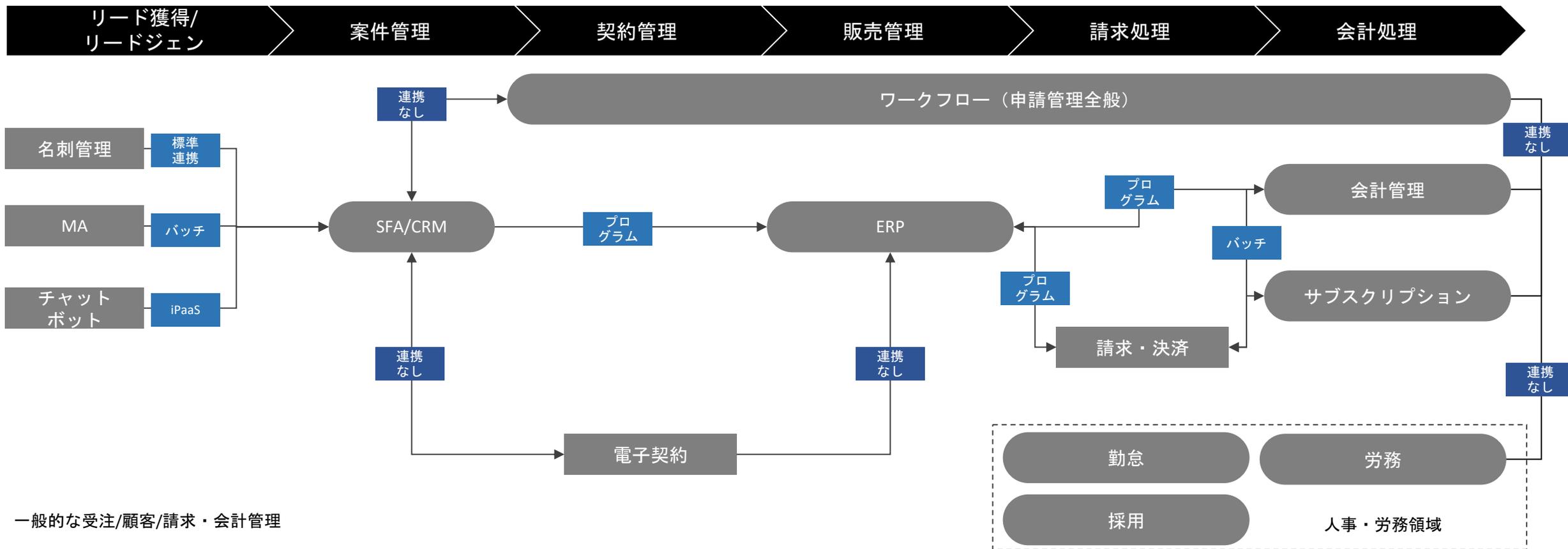
04 お客様の声

05 料金/サポート体制

SaaS増加での連携状況

昨今ではビジネスプロセスにおいて各所でSaaSが存在しており、それらを連携するためにバッチ処理や専用プログラムの開発、iPaaSなどを組み合わせて連携している企業が多く存在します。

ビジネスプロセスにおける各フェーズのSaaSの相関と連携イメージ



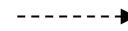
連携における課題

業務内で利用するSaaSが増えた結果、データ連携が必要になるケースが発生しますが、ボトルネックの見極めや連携方法を検討する必要があり、すぐにSaaS同士を連携することは困難です。

ユースケース

営業がCRMの顧客情報を更新して受注になった後、契約書送付まで時間がかかる、かつ手間もかかる

問題1

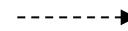


ツールが複数あることで業務内容は効率化されたが、データの連携が必要になる

業務の棚卸し

1. CRMで管理している顧客情報を社内のワークフローシステムを開いて、稟議申請
2. 稟議が承認されたことを確認
3. 再度CRMの顧客情報をもとに契約書作成
4. 3で作成したものを電子契約システムで送付

問題2



業務を棚卸しどのような連携が必要か、何がボトルネックなのか業務フローを整理する必要がある

連携の可能性

- ② CRMとワークフローを連携
- ② ワークフローと電子契約を連携

問題3



連携するツールを明らかにしたが、標準連携されておらず連携する方法を調査する必要がある

連携方法の比較

連携方法は様々ありますが費用がかかる方法や業務フローに適さない連携方法など、業務フローを柔軟に設計できるSaaS連携ツールがないと認識しております。

	メリット	デメリット
プログラム作成 (バッチ処理など)	<ul style="list-style-type: none">❓ 自社の業務フローに合わせ柔軟に構築が可能	<ul style="list-style-type: none">❓ プログラムを作るエンジニアや外部への委託が必要❓ 開発費や保守・運用費もかかり費用も人的コストも多く、時間もかかる
ETLツール	<ul style="list-style-type: none">❓ 大規模な開発をローコード・ノーコードで構築可能	<ul style="list-style-type: none">❓ 機能が多い分操作も複雑であり、連携するためにある程度知識・経験が必要❓ iPaaSと比較し、構築するために<u>数百万単位の費用が必要</u>
iPaaSツール	<ul style="list-style-type: none">❓ GUIベースでアプリ間の連携を構築可能	<ul style="list-style-type: none">❓ 英語ベースのプロダクトが中心であり、国内SaaSの対応も少ない❓ データ加工も多くなく、<u>業務フローに適した連携ができない</u>

02 弊社ソリューションの ご紹介

BizteX Connectについて

複数のシステムを繋ぐことが必要な自動化・効率化したいオペレーションを画面上でアプリを繋げるだけで作成するシステム連携プラットフォームです。

MA × CRM

CRMの顧客情報を抜き出して、マーケのMAと連携して顧客リストを最適化したい



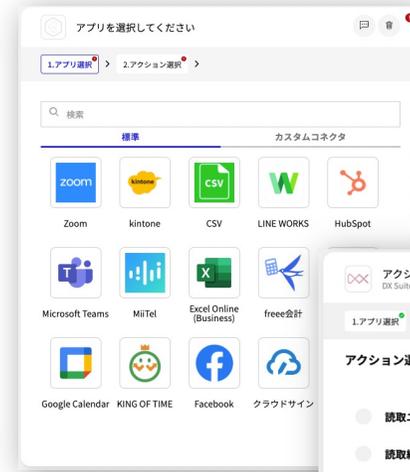
担当者

CRM

×

WF

CRMと電子契約を連携して、受注になったらすぐに契約書送付できるオペレーション組みたい



GUIで簡単設定

様々なアプリケーションとAPI連携するコネクタが利用可能



BizteX Connectの特徴



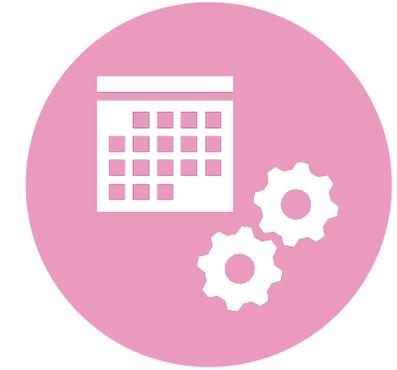
豊富なアプリとの接続

社内チャットやストレージはもちろん、各種SaaSとの連携が可能です



APIがない場合でも RPAで連携可能

APIがないシステムでもRPAと標準連携しているの、自動化することが可能です。



iPaaS内での加工処理

簡単な計算式を組み込むことでデータ連携で発生する簡単な加工を自動で行うことが可能です。
※現在開発中

RPAとiPaaSの違い

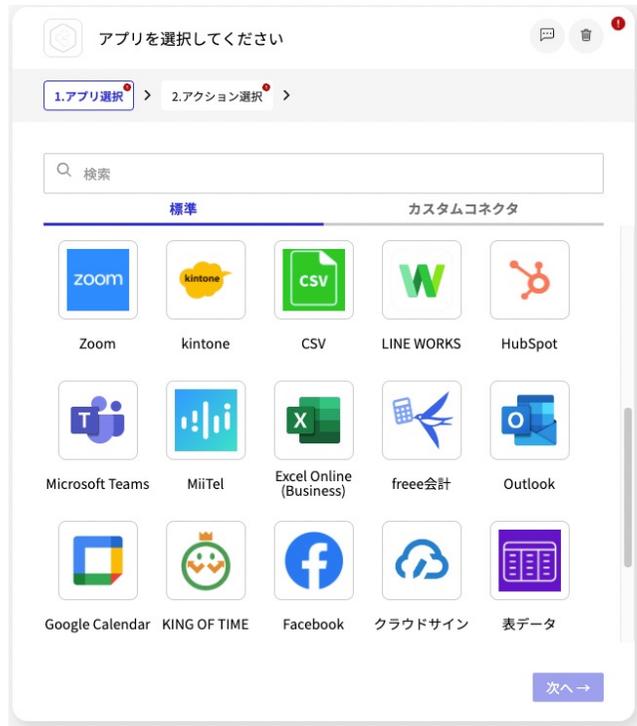
提携業務の自動化という観点では共通しており
RPAとiPaaSの双方を組み合わせることで業務自動化に対して大きな効果を生みます。

	 RPA	 iPaaS
ソリューション領域	定形処理の自動化	システム連携・統合管理
できること	ソフトウェアロボットに 人の作業を代行させる	APIで複数サービスのデータ連携 ができる
主要機能	PC操作の録画・再生 画面上の要素認識 アプリケーションの起動・操作	API連携用のアプリコネクタ ワークフローの作成 ETL（データの抽出・変換・格納）
実行する環境	オンプレミス or クラウド ※製品により違いあり	クラウド
得意領域	繰り返しの作業を行う デスクトップアプリの操作を行う	APIでのリアルタイム処理・連携
苦手領域	複雑であったり、変更の多いGUIの操作	APIの無いシステム連携

Connect設定イメージ

すべて日本語対応しており、シナリオ内で連携するアプリ数の制限もなく
アプリ追加、削除などがとても柔軟に設定することが可能です。

アプリ指定



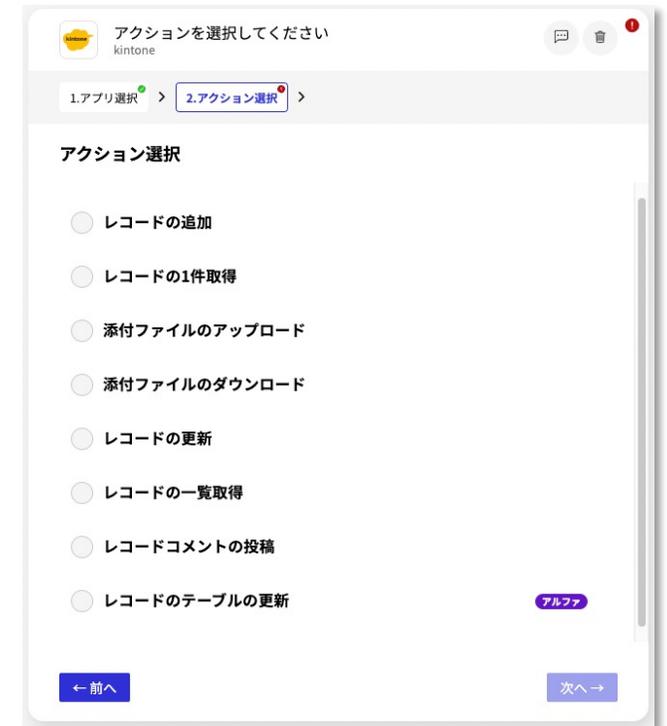
豊富なアプリケーションの中から
連携したいアプリケーションを選択

アクション設定



実行するアクションを選択

条件設定

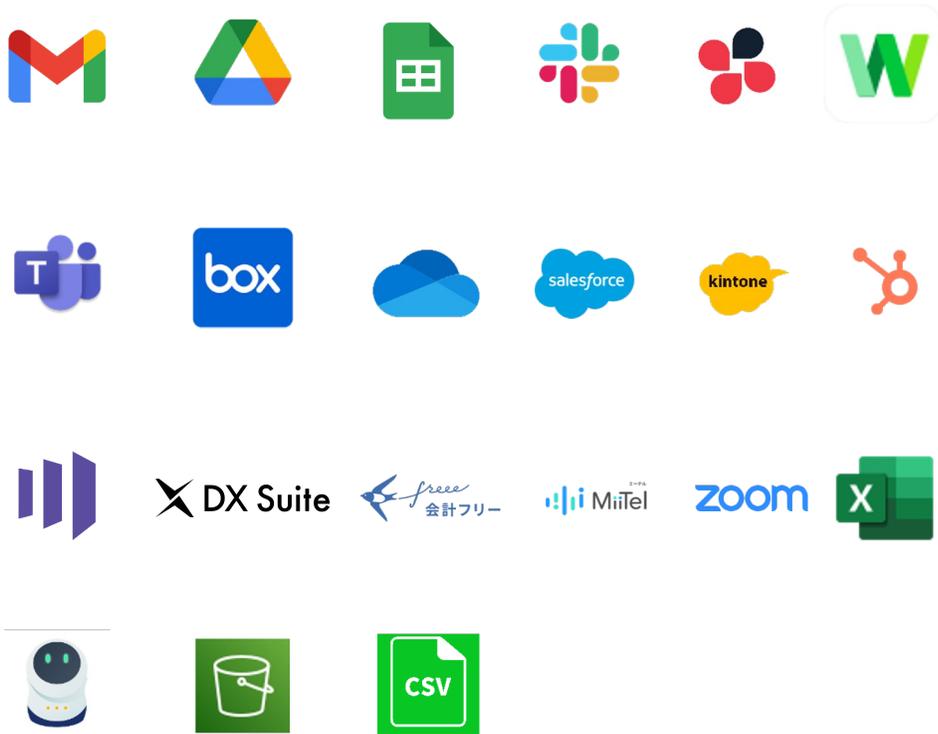


どのような条件でフォルダを指定するかデ
ータをマッピングするかなどを設定

連携アプリやアクション例

様々なアプリと連携しており、アプリによってそれぞれ自動化可能なアクションが設定されており、それらを自由に組み合わせることが可能です。

アプリ



アクション

チャット ツール関連

メッセージを投稿する

ファイルを投稿する

Botを使用する

ストレージ 関連

ファイルをダウンロードする

ファイルをアップロードする

フォルダを作成する

CRM 関連

レコードを登録する

レコード情報を取得する

最新情報はこちらの[サービスサイト](#)をご確認ください。

03 SaaS連携事例

活用イメージ概要

様々なシステムと接続することができ、営業/マーケティング部の顧客対応業務や総務/管理部での人事・労務関連の業務における活用イメージをお伝え致します。

営業/マーケティング部向け



チャットボット連携



CRM/SFA連携



RPA連携

総務/管理部向け



OCR連携



請求書対応



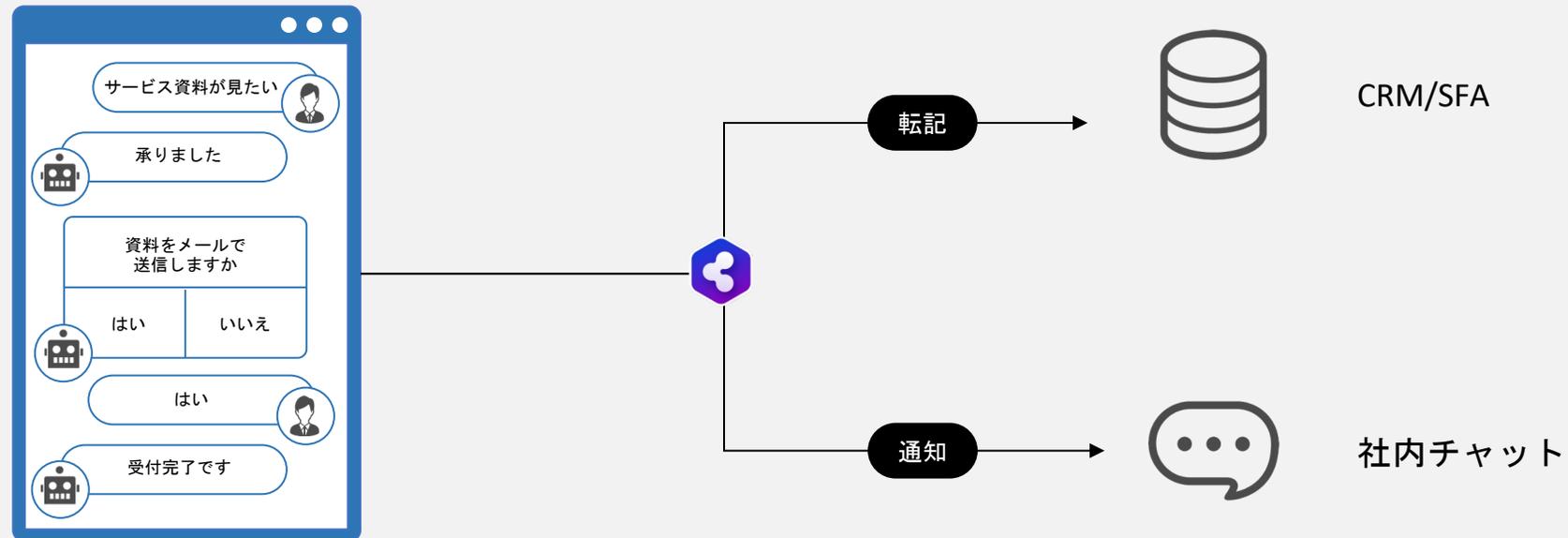
稟議申請

チャットでいったリード情報をリアルタイムで別システムへ連携が可能になったことで、手動による転記や逐一の確認が不要になり、結果リードへの対応が迅速になりアポ率向上に寄与。

ヒューマンエラーの防止

転記作業がなくなり工数削減

顧客対応が迅速になりアポ率向上

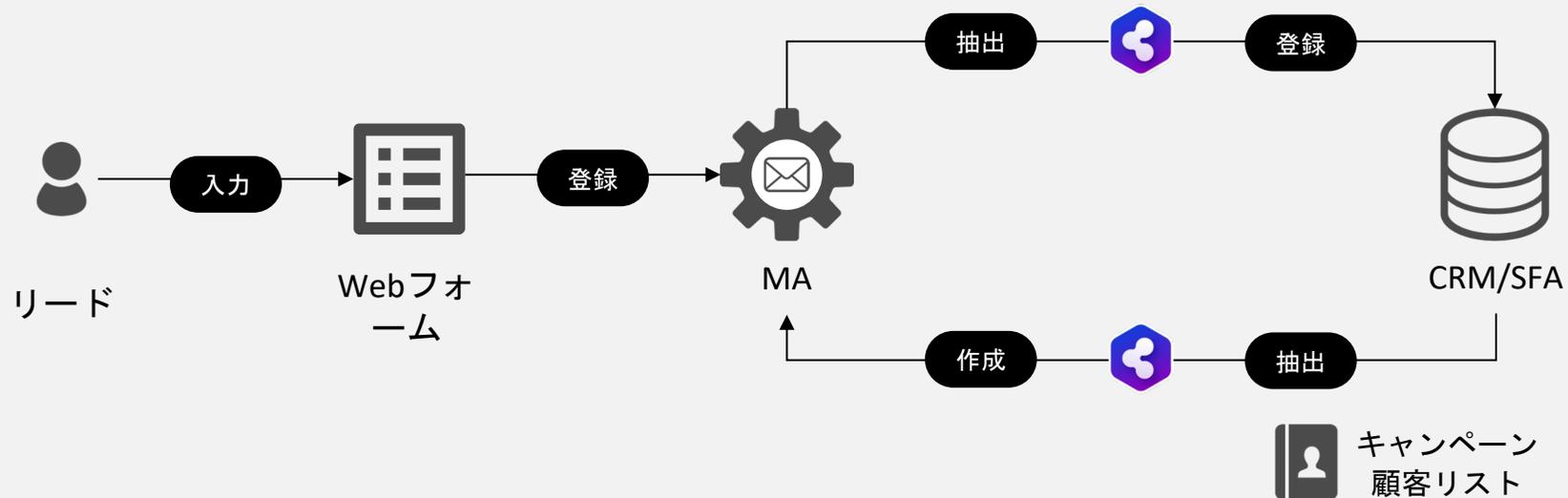


リード情報の登録をMAからCRM/SFAに連携が可能になったことで、リードの登録漏れやミスを防止しCRM/SFAの顧客DBが適正になり、リスト抽出の自動化によりMAを利用したキャンペーンも効率化。

リードの登録漏れを防止

ヒューマンエラーによる登録ミス防止

リスト抽出自動化によるMA効率化

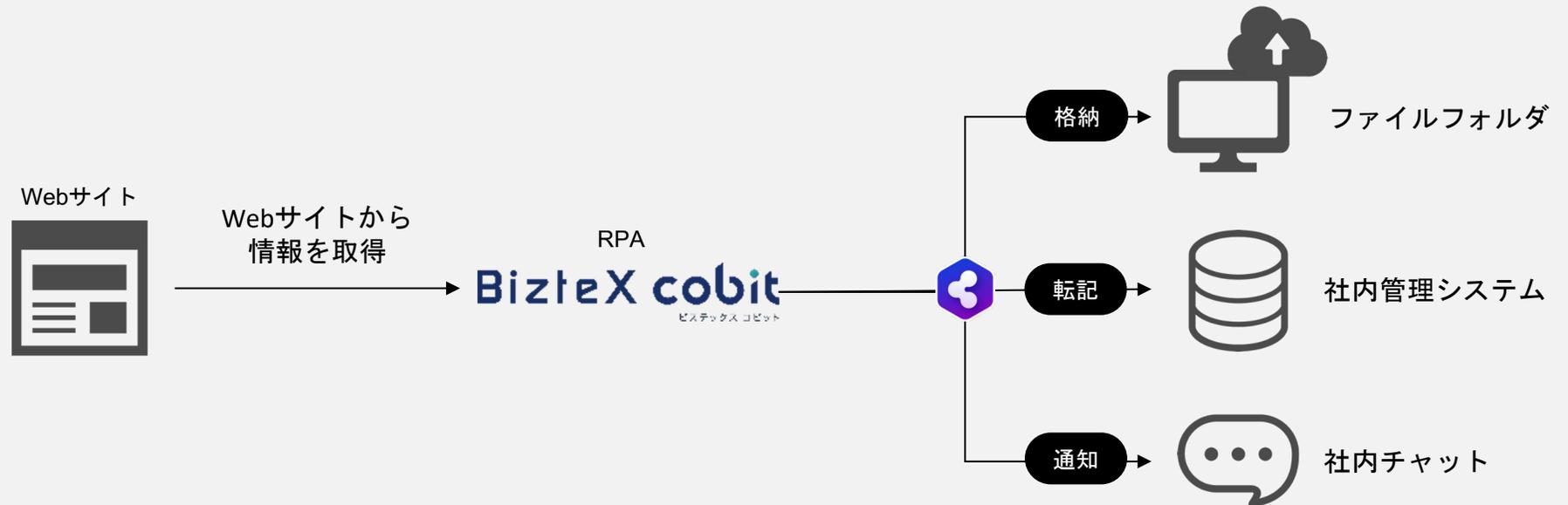


通常のiPaaSではアクセス不可なAPIのないWebサイトでもRPAをもとに情報を取得し、社内の各システムと連携することで業務効率化が可能になります。

APIのないサービスでも連携

定期的なサイト監視の効率化

取得データの転記や格納も自動化

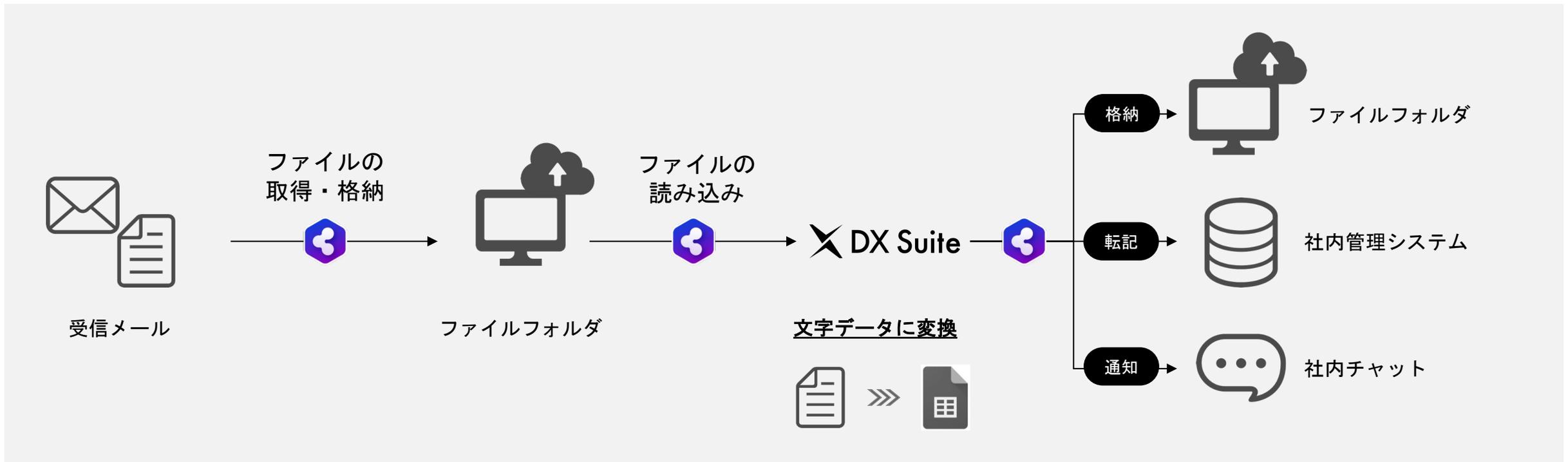


メール受信からファイル格納、文字データ変換を行い関連システムへの一気通貫な連携が可能になったことで手動でのデータ転記や逐一の確認が不要になります。

ヒューマンエラーの防止

APIにより複数システムを即時連携

書類が多い時期も工数変わらず対応

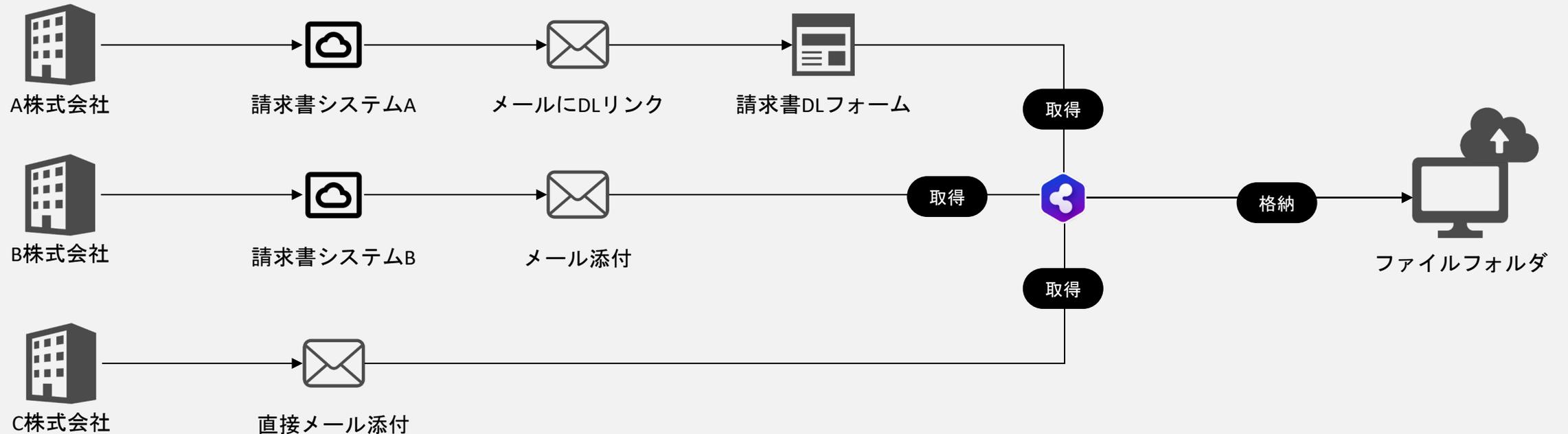


各社によって様々なシステムによる請求書の送付やメール添付の送付に対してAPIとRPAを組み合わせて様々な送付形式に対応し、請求書格納における業務を効率化。

ヒューマンエラーの防止

RPAと組み合わせDLフォームにも対応

請求書格納での手作業を効率化

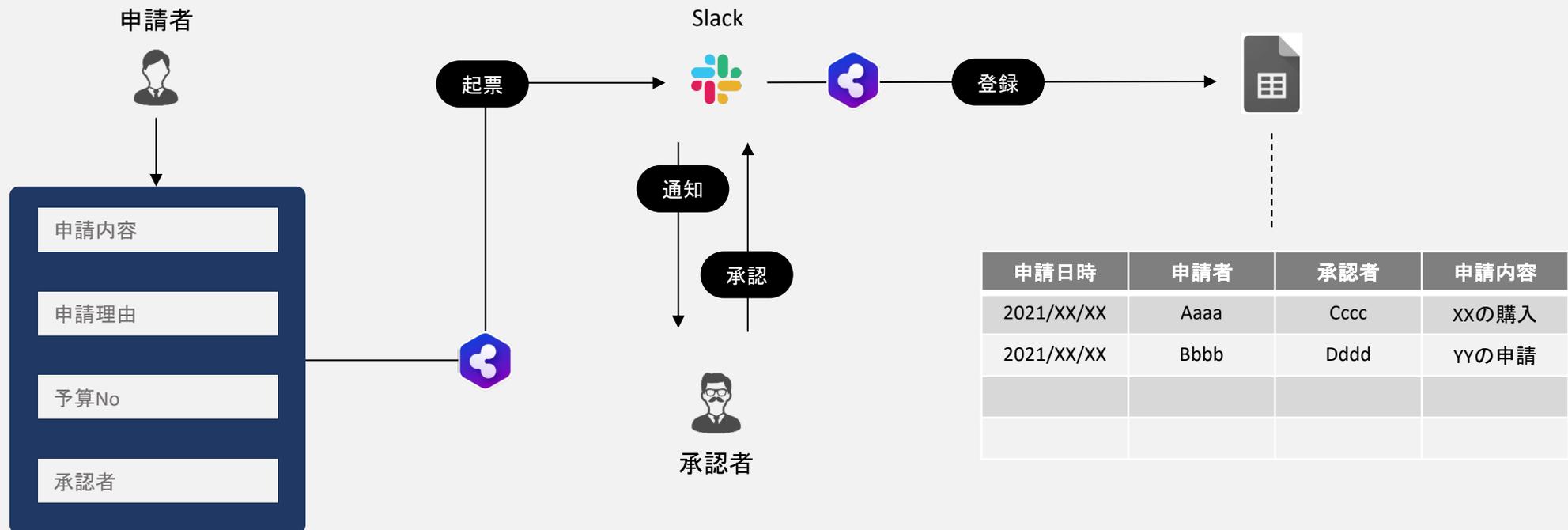


チャットサービスから稟議の申請・通知・承認が可能になり、稟議が停滞することなく迅速になるほか稟議内容をDBとして蓄積することで、内部統制も強化可能になります。

チャットベースで申請可能

通知・承認が楽になり稟議が迅速化

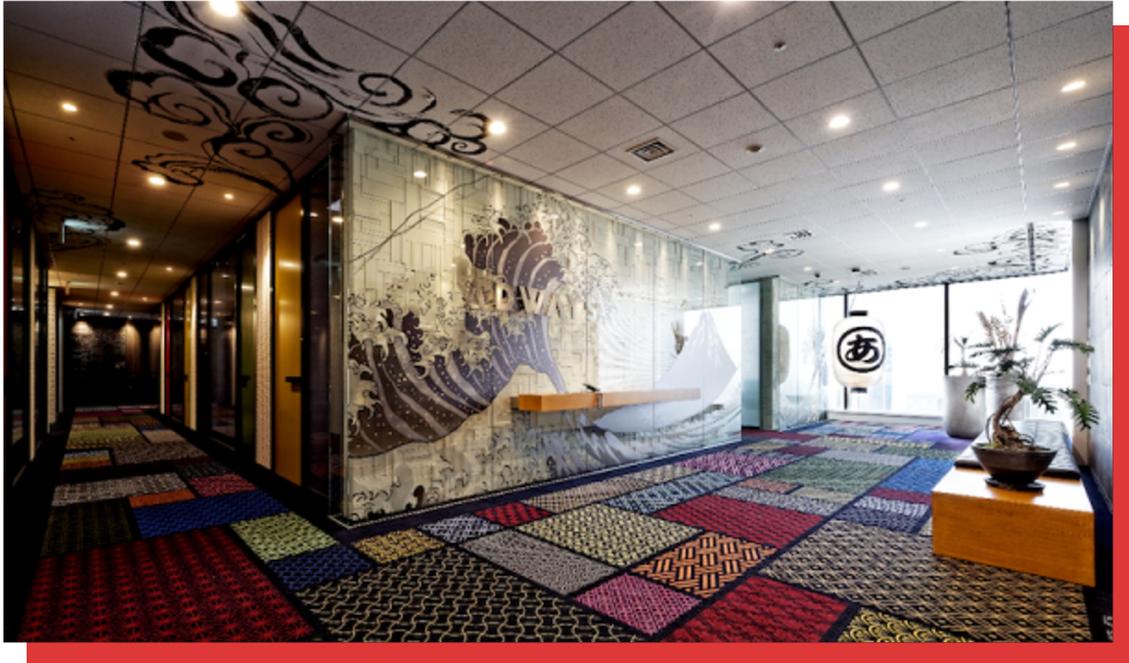
稟議をDBとして蓄積でき利便性と内部統制を両立



04 お客様の声

導入事例-1

BizteX ConnectによってRPAをチャットやGoogleDriveに連携。時間コストを大幅削減。



株式会社アドウェイズ様

対象業務

- ❑ RPAで広告媒体のレポートデータを取得し、GoogleDriveにアップロード。
- ❑ エラーが出たら都度リカバリー対応。

業務課題

クライアント指定のフォーマットでデータ取得しDriveへアップロードする定形業務を毎日の処理が困難

導入効果

RPAからGoogleDrive,チャットの自動連携シナリオを構築したことにより、一日あたりにかかるアップロード時間を3~4時間ほどカット。エラーのリカバリー対応もなくなり時間コストの削減に成功。

導入事例-2

RPAとGsuite、Slackの自動連携により担当者1人あたり30分/日の業務時間を削減。



株式会社ベアーズ様

対象業務

- ☒ スプレッドシートで管理している営業KPI等の数値や日報のスクリーンショットを撮影し、Slackの該当チャンネルに通知する

業務課題

定期的に元データまで確認することに工数がかかっており、リアルタイムでの確認も困難

導入効果

RPA→スプレッドシート→スクリーンショットを撮影→Slack通知の連携シナリオを構築したことにより、休日分の処理まで自動化し 業務負荷の分散化に成功。

05 料金サポート体制

ご導入フロー

1

ヒアリング

☒ 実現したい業務フローや 連携内容についてお聞きさせていただきます。

2

検証

☒ 実現したい内容に沿ってシナリオ内容やシナリオのフローを検証致します。

3

お見積り

☒ 検証した内容をもとに最適なプランでお見積り致します。

4

ご契約

☒ 検証およびお見積り内容に対し双方の合意が成されましたらご契約に移ります。

5

オンボード

☒ 管理者様の説明会や初回の操作ご説明を約1時間～2時間程実施致します。

料金表（基本プラン）

	Entry	Standard	Professional
月額	30,000円	60,000円	100,000円
無料実行回数	1,000回	3,000回	10,000回
上限シナリオ数	5シナリオ	10シナリオ	20シナリオ

※初期費用は150,000円となります。

※Professionalプラン以上は個別見積もりになります。

※無料実行回数を超過した場合は、各プランごとに設定された単価の実行回数分ご請求させていただきます。

※容量の大きいファイル転送を行う場合、ファイルサイズ上限を25MBから200MBに月額25,000円に変更できます。

※業務フロー設計やシナリオ構築など、チャットサポート以外のご支援は別途ご料金をいただきます。

BizteX

オートメーションテクノロジーで
新しいワークスタイルを実現する

お問い合わせ



<https://www.biztex.co.jp>



insidesales@biztex.co.jp



東京都新宿区新宿1-3-12 壱丁目参番館2F

こちらからトライアル申し込みが可能です

